

## 5. 日本地球惑星科学連合の分科会について

10月18日(火)に標記連合の評議会が開かれたことが廣田理事長から報告された。地球惑星科学委員会の下に作る分科会(旧研究連絡会に相当)の構成について検討が要請されており、意見を廣田理事長または近藤理事に報告することとした。

## 6. 日本地球惑星科学連合の教育と普及委員会活動報告

標記連合の地学教育委員会で策定した次期高等学校学習指導要領の提言を、7月29日(金)に文部科学省に提出したことが坪田理事から報告された。この提言は、地球人として必要最低限の科学知識の習得を目標とするため、高等学校「理科」における全員必修の新科目創設とその内容からなるものである。

## 7. 日本学術会議からの依頼への対応

標記会議の新体制の下で、これまでの「登録学術研究団体」の制度が廃止され、新たに「日本学術会議協力学術団体」が設置されることに伴い、会議から改めて参加の依頼があったことが事務局より報告されたので、参加を承認した。

## 8. 第33期第5回理事会(神戸)の議題について

以下の項目を予定議題とすることを確認した。

- ・2006年度秋季大会の準備状況(中部支部)および

2007年度秋季大会の担当機関(北海道支部)の確認。

- ・第2回評議員会の議題の確認。
- ・科学研究費補助金(研究成果公開促進費:文部科学省所管)への対応についての各支部の意向等の確認。
- ・気象学会125周年記念事業の準備状況の確認。
- ・新年度からの事務局体制についての確認。
- ・予稿集の値上げ等の大会開催に係る問題の確認。
- ・各支部の活動の現状等についての報告。

## 9. その他

- (1) 第43回アイソトープ・放射線研究発表会の共催について

運営委員として引き続き廣田道男氏(高層気象台)を派遣することを承認した。

- (2) 独立行政法人科学技術振興機構(JST)からの気象研究ノートの寄付の申し入れについて

データベース登録のために気象研究ノートを提供することを承認した。

- (3) 内規の修正について

大会補助金の基準を春季300万円、秋季250万円としたことを補助内規に反映した。

## 2006年度日本気象学会奨励賞受賞候補者の推薦募集

日本気象学会は、研究環境や研究費に恵まれない方々が行う調査や研究を奨励するために、「日本気象学会奨励金」制度を1970年に設けました。その後、実践的な気象教育を進めている方々も奨励するように選考範囲を拡大しました。さらに1998年には、「奨励金」を表彰に重点を移した「奨励賞」と改め、引き続き毎回3件程度の表彰をしております。

奨励賞受賞候補者推薦委員会は、受賞者選定規定に基づいて、候補者を理事会に推薦します。つきましては、広く候補者を募集しますので、次の要領によって2006年度の受賞候補者をご推薦下さい。自薦も歓迎します。なお、日本地学教育学会にも推薦募集案内の通知を依頼しています。

2005年12月

### 記

締切: 2006年2月28日(火)

送付先: 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-4  
気象庁内日本気象学会事務局気付  
奨励賞受賞候補者推薦委員会

用紙: A4判縦、横書き

推薦書および添付資料(推薦書は公文書でなくても構いません)

1. 研究題目(推薦対象となる研究調査または教育活動の内容を簡潔に示すもの)
2. 受賞候補者氏名(ふりがな)、所属、連絡先、略歴(グループとしての活動も可)
3. 推薦者氏名、所属、連絡先(できればメールアドレスも)

## 4. 推薦理由 (1500字以内)

受賞候補者の研究環境 (指導者, 研究時間, 研究費等) について触れる。

## 5. 研究成果の概要 (1500字以内)

これまでの研究調査または教育活動に関した出版物, 報告, 資料等 (のコピー) を添付する (推薦理由に関連の深いものを中心として, 最大10編程度にして下さい)。重要な成果が共著である場合には, 候補者の寄与について説明をつける。

## 募集概要

1. 気象学・気象技術に関するテーマについての研究・調査, および初等・中等教育等における気象教育の実践, 教材の開発などの実践的な教育普及活動を対象とする (研究としての完成度の高さは必要条件ではない)。
2. 候補者は研究環境 (指導者, 研究時間, 研究費) に恵まれていないことが条件である。従って, 大学あるいは研究機関に勤務または在学し, 経常あるいは特別研究費の配分を受けて気象学の研究に従事する者は, 原則として奨励賞の対象外である。なお候補者は気象学会員である必要はない。
3. 選考にあたっては, 過去の調査・研究・実践の経歴が豊富なことを重視する。関連学会, 関連研究会, 関連機関の調査研究会等に発表または投稿がなされていることは, 業績を評価するための材料として考慮する。
4. 2006年度の奨励賞贈呈は, 秋季大会 (名古屋, 10月25~27日の予定) で行う。

## 1998年度までの「奨励金」受領者

- (70) 長野美文, 久保田 効  
 (71) 山川 弘, 竹内丑雄  
 (72) 杉山清春, 竹内 新, 地迫良一, 深津 林, 清水喜允  
 (73) 加藤一靖, 小岩清水, 村松照男  
 (74) 矢野兼三, 内山文夫, 櫃間道夫  
 (75) 岸田和博, 鈴木和史  
 (76) 山田幹夫, 力武恒雄, 松村三佐男  
 (77) 小形 明, 宮川和夫, 永沢義嗣, 佐々木芳春  
 (78) 島村泰正, 伊豆味正吉, 春日 信, 浦野 弘

- (79) 木村 悠, 坂上公平, 小柴 厚  
 (80) 山中 博, 若原勝二, 中井公太, 横山 博  
 (81) 細野正俊, 西本洋相  
 (82) 西田耕造, 山内博行, 原嶋宏昌  
 (83) 田頭正広, 渡部浩章, 鈴木欣也, 丹 英二, 長島 真  
 (84) 平 隆介, 加藤敏彦, 柴山元彦  
 (85) 中田隆一, 水野 量, 名越利幸  
 (86) 大奈 健, 江上 公, 半田 孝, 瀧島幸市  
 (87) 入田 央, 三品 博, 榊原保志  
 (88) 大野木和敏, 銘苺真正, 金城勝重, 橋本雅巳  
 (89) 松本崇司, 松田耕治, 塩澤定道, 有賀公平, 西銘直正  
 (90) 横田寛伸, 松村 哲  
 (91) 榎野泰夫, 浅野浅春, 岡田哲也, 居島 修  
 (92) 中田裕一, 川野 浩, 今 勝義  
 (93) 木俣昌久, 吉田洋一, 下畑五夫, 植田 隆, 古川善朗  
 (94) 前田 宏, 石原昭史, 裏川一雄  
 (95) 小沢英司, 河合宏一, 中吉一行, 西岡佐喜子  
 (96) 四宮茂晴, 大鹿清司  
 (97) 山下龍平, 花宮廣務  
 (98) 上田崇裕, 金森恒雄, 坪田幸政

## 2005年度までの「奨励賞」受賞者

- (99) 須田卓夫, 松浦健次  
 (00) 加藤 廣, 黒良龍太  
 (01) 出口 一, 大久保 篤, 加治屋秋実  
 (02) 大沼啓人, 上口弘晃, 平松和彦, 森岩 聡  
 (03) 高田伸一, 中山 寛, 渡邊真二  
 (04) 中村直治, 箕輪敏行  
 (05) 関西気象予報士会「楽しいお天気講座」担当グループ, 辻川才太

## 日本気象学会奨励賞受賞候補者推薦委員会

- 担当理事: 藤部文昭, 坪田幸政, 松村崇行,  
 宇平幸一, 湯田憲一, 藤村弘志,  
 磯部英彦, 中村誠臣  
 委員: 岩嶋樹也, 岡田憲治, 高橋忠司,  
 原 昌弘